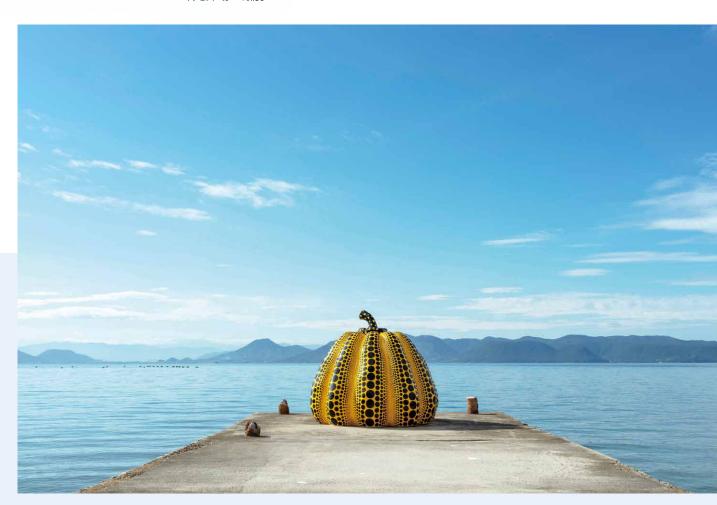
第69期 株主通信

2022年4月1日-2022年9月30日

Benesse Family



株式会社ベネッセホールディングス

https://www.benesse-hd.co.jp/ja/

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し あげます。

当期は「中期経営計画FY2021-2025」2年目であり、新型コロナウイルス感染症の影響からの業績の回復を目指しています。新型コロナウイルス感染症の影響の長期化、原材料価格の高騰、円安の進行に加え、教育事業を取り巻く環境が急速に変化する中、中期経営計画の達成に向け、グループー丸となって変革を推進しています。

当上半期の業績は、売上高2,019億円(前年同期比7.1%減)、営業利益は106億円(前年同期比18.1%減)と前年同期 比で2期ぶりの減収減益となりました。

減収の主な要因は、大学・社会人事業及び学校向け教育事業の受注増や、介護・保育事業において高齢者向けホーム及び住宅数の拡大による増収があったものの、2022年2月14日付でBerlitz (ベルリッツ) Corporationの全株式を譲渡したことに

伴い、同社の前年同期の売上高が剥落したこと、「進研ゼミ」及び中国と国内の「こどもちゃれんじ」の延べ在籍数減少に伴う減収によるものです。減益の主な要因は、Berlitz Corporationの前年同期の営業損失が剥落したこと、及び「進研ゼミ」における教科書改訂対応費用の剥落や販売費の削減等の費用減があったものの、減収による減益、及び介護・保育事業における販促費、水道光熱費等の増加による減益によるものです。

また、配当につきましては、事業成長や財務の状況を鑑みながら積極的に行う方針としており、中間配当金は予定どおり5円増配し、30円としました。

今後も教育・介護のリーディングカンパニーとして「すべての 人が向上意欲を持ち、自分らしく挑戦し続けられる社会」の 実現を目指し、教育・介護の社会課題の解決に取り組んでまい ります。株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜り ますようお願い申しあげます。

連結業績ハイライト

上半期 通期



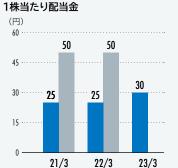




親会社株主に帰属する当期純利益







2023年3月期の連結業績予想

売上高は、介護・保育事業及び大学・社会人事業の増収があるものの、Berlitz Corporationの株式譲渡による同社の売上の剥落、「進研ゼミ」及び中国と国内の「こどもちゃれんじ」の延べ在籍数減少等による減収を予想しています。

利益面は、減収による減益の一方で、費用の削減等により、 営業利益・経常利益の増益を見込んでいます。親会社株主に 帰属する当期純利益は、上記に加え、前期に発生した関係会 社株式売却損が発生しないこと等により増益の見込みです。

連結業績予想

(億円)

	22/3	23/3(予)	前期比増減率
売上高	4,319	4,170	-3.5%
営業利益	201	215	6.6%
経常利益	154	165	7.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	10	115	980.6%
1株当たり当期純利益(円)	11.04	119.25	980.3%

事業領域別の概況

国内教育



(株) ベネッセコーポレーション

- 通信教育事業「進研ゼミ」
- •「進研模試」を中心とした 学校向け教育事業

Classi(株)

• 教育プラットフォームの 開発・運営事業

(株)東京個別指導学院

- (株)アップ 等
- 学習塾事業
- (株) ベネッセビースタジオ
- 子ども向け英語教室事業
- (株)進研アド
- 大学支援事業

売上高 減収(-1.1%)

- ■「進研ゼミ」の延べ在籍数減少による減収
- 大学・社会人事業、学校向け教育事業の受注増等による増収

営業利益

增益(+5.9%)

- 「進研ゼミ」の教科書改訂対応費用の剥落、販売費の削減等による 増益
- ■減収による減益

事業別売上高 構成比





Kids & Family



(株) ベネッセコーポレーション

倍楽生商貿(中国)有限公司 中国での通信教育事業 「こどもちゃれんじ」等

- 国内・台湾等での通信教育事業 「こどもちゃれんじ」等
- 雑誌出版事業「たまごクラブ」 「ひよこクラブ」等
- 通信販売事業「たまひよSHOP」 「たまひよの内祝」等

売上高

減収(-10.1%)

- 中国のゼロコロナ政策の影響等による中国の「こどもちゃれんじ」 の延べ在籍数減少による減収
- 国内の「こどもちゃれんじ」の延べ在籍数減少による減収

営業利益

減益(-69.9%)

■減収による減益







(注1)各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高が含まれています。

(注2) Berlitz Corporationの株式譲渡に伴い、セグメントから「ベルリッツ」 を除外しています。



決算資料・決算説明会の様子を ご覧いただけます。

介護・保育



(株) ベネッセスタイルケア

- 入居介護サービス事業(高齢) 者向けホーム及び住宅運営)
- ・在宅介護サービス事業
- 保育園·学童運営事業

(株) ベネッセパレット

- 配食サービス・介護食サービス (株) ハートメディカルケア
- メディア事業
- 福祉用具販売・レンタル事業

売上高

增収(+2.7%)

- ■高齢者向けホーム・住宅数の拡大による増収
- (株) ハートメディカルケアの連結子会社化による増収

営業利益

減益(-65.6%)

- ■営業強化に伴う販促費、水道光熱費等の増加による減益
- ■増収による増益

事業別売上高 構成比





その他



(株) ベネッセインフォシェル

(株) ベネッセホールディングス

- 情報システムの保守・運用事業 ・直島事業

情報処理サービス事業

売上高

減収(-1.8%)

■(株)ベネッセインフォシェルの受注減による減収

営業利益

損失拡大

- ■(株)ベネッセインフォシェルの減収による減益
- ■コスト削減

事業別売上高 構成比





特集

新領域への挑戦

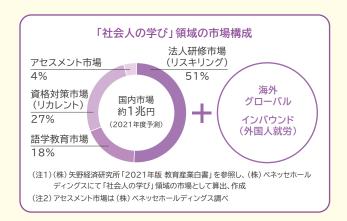
大学・社会人事業の拡大に注力

ベネッセグループが2021年度から取り組んでいる中期経営計画では、事業戦略として「コア事業の進化」と「新領域への挑戦」を掲げています。「新領域への挑戦」では、既存事業とのシナジー創出が可能な領域において、新たな事業の柱の確立に取り組んでいます。

この取り組みの一つとして、大学・社会人向けの教育事業の拡大に注力しています。

人々の価値観や仕事・キャリアに対する考え方が多様化する中、「社会人の学び」に関する市場規模は約1兆円とされています。

こうしたニーズに応え、事業拡大への取り組みを加速することで、 2025年度までに大学・社会人事業の売上高を400億円規模に拡 大することを目指しています。



大学・社会人カンパニーの事業領域



▶ 大学・専門学校入学前教育支援 進研アド 入学前教育プログラム

(株)進研アドでは、大学・専門学校等への入学が決まった高校3年生向けに、 入学後の学びをより確かなものにしていくための入学前教育プログラムを提供 しています。年内入試で進路を決定する高校生の割合が増加する中、入学後の学 びへの期待感や学習意欲の醸成、学びに必要な視野を広げ、学ぶ姿勢を築く目 的で、入学前教育プログラムを採用される学校が増加しています。

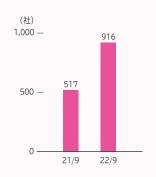


社会人の学び・リスキリング支援 オンライン学習プラットフォーム「Udemy」

「Udemy」は、世界中の教えたい人 (講師) と学びたい人 (受講生) をつなぐオンライン学習プラットフォームで、世界で5,400万人以上が学んでいます。最新のIT技術からビジネススキルまで幅広いテーマの講座を提供しています。法人向けには「Udemy Business」として、公開している講座の中から厳選した約8,800講座を定額制で提供しています。社会人のリスキリング (学び直し) が拡大する中、国内900社以上、日経225に選定された企業の半数以上に採用されています。



Udemy Business 導入社数







ベネッセグループの 人的資本強化への取り組み

ベネッセグループは、「社会価値」「顧客価値」「経済価値」の 3つの価値の循環を通じた長期的な企業価値向上を目指して、人 を軸とする経営の実現に向け、さまざまな取り組みをしています。



CHECK!

「統合報告書2022」 で紹介しています。

「人的資本経営コンソーシアム」に参画

「人的資本経営コンソーシアム」は、人的資本経営の実践に関する先進事例の共有、企業間協力に向けた議論、効果的な情報開示の検討を行う目的で2022年8月に設立されました。(株)ベネッセホールディングスは、コンソーシアムへの参画を通して、中長期的な企業価値向上につながる「人的資本経営」の知見を深め、グループの人的資本のさらなる強化と開示の充実を図ります。

第4回プラチナキャリア・アワード「優秀賞」を受賞

(株) ベネッセホールディングスは、社員のキャリア形成や活躍機会の提供を志向している企業を表彰する「第4回プラチナキャリア・アワード」で、社員が学び続ける"ラーニングカルチャー"醸成への取り組みが評価され、「優秀賞」を受賞しました。



第11回日本HRチャレンジ大賞「イノベーション賞」を受賞

(株) ベネッセビジネスメイトは、人材領域で優れた新しい取り組みを積極的に行っている企業を表彰する「第11回日本HRチャレンジ大賞」で、障がい者雇用を推進する特例子会社における「指導員・業務リーダー育成システム」の構築で「イノベーション賞」を受賞しました。



TOPICS



VRゴーグルで学ぶ新しい学習法 進研ゼミ「ハイリコム学習」中学準備講座からスタート

東京大学と(株)ベネッセコーポレーションとの共同研究*で、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校生活や学習習慣の変化により「学習意欲が低下」した小学生・中学生が2年連続で増加していること、また、学習意欲が低下した子どもたちのやる気向上には、学習の中で「わかるようになった」「楽しくなった」「深く考えるようになった」という経験が大切なことがわかりました。

この調査結果を踏まえて、進研ゼミは、「VR study ゴーグル」を使いながら学習する「ハイリコム学習」をスタートします。 「VR study ゴーグル」は、11歳以上の学習専用に独自に開 発した教材です。スマートフォンをゴーグルにセットした状態で 使います。

中学校に入学するタイミングで役立てていただくため、小学校6年生向けの「進研ゼミ中学準備講座」から提供を開始します。「宇宙」や「英文法」など、抽象的な単元や難しいルールも、子どもたちがVRコンテンツで"なりきって学ぶ・体感で覚える"ことにより、楽しみながら考え、理解できることを目指します。

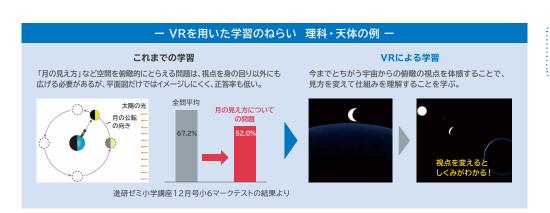
*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所 共同研究プロジェクト「子どもの生活と学びに関する親子調査2021」より

- ★ 対象: 小学6年生「進研ゼミ中学準備講座・ハイブリッドスタイル」受講会員 ※対象学年は随時拡大予定
- ★ 時期:2022年12月25日コンテンツ配信開始予定
- ☆ 内容: 英語・理科の学習から提供開始 ※単元は順次拡大予定



VR study τ΄- τ΄ιι

ハイリ】ム学習





02

一流レッスンが全国どこでも自宅で受講できる オンライン習い事「チャレンジスクール」 開講

(株) ベネッセコーポレーションは、「一流指導」「成長実感」 「送迎不要・保護者の負担軽減」に徹底的にこだわり、全国どこ にいても「好きなこと」を自宅で学べるオンライン習い事「チャ レンジスクール」を2022年4月に開講しました。幼児~小学生 向け「ダンス」、小学生向け「アート」に加え、9月からは小学生 向け「そろばん」「習字(硬筆)」、中学生~高校生向け「プログラミング」を開講しました。











ベネッセグループ首都圏初の中学受験教室 「進学館√+(進学館ルータス)」を開校

(株)アップが運営する難関中学受験指導「進学館」は、関西を中心に40年以上にわたり、灘中学校をはじめ関西の人気校に多くの合格者を輩出してきました。その進学館をより発展させ、少人数の集団指導に個別指導を掛け合わせた新しいスタイ

ルの学習塾「進学館ルータス」として、ベネッセグループ首都圏 初の中学校受験専門教室が2023年2月、東京都渋谷区にてスタートします。



ベネッセグループの難関中学受験指導 世学館 √ナ



TOPICS

04

「人」と「テクノロジー」の融合で ご入居者様のQOL向上を目指す ベネッセ版センシングホーム「グランダ四谷」開設

(株) ベネッセスタイルケアは、2022年3月、初のベネッセ版センシングホームとして介護付有料老人ホーム「グランダ四谷」を東京都新宿区に開設しました。センシングホームでは、各種センサー機器を導入し、「人のスキル・ノウハウ」と「テクノロジー」を融合させることで、ご入居者様ができる限り自分の力で"やりたいこと"を続けられるようにサポートしています。

同社では、すべてのホームにおいて、自社開発した介護・看護記録のプラットフォーム「サービスナビゲーションシステム」を導入しており、さまざまな情報をデジタルデータとして集約

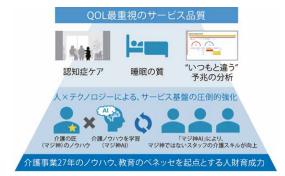
しています。センシングホームでは、このシステムによって蓄積された介護・看護の記録データとセンサー機器等を通じて収集した睡眠や排せつなどに関する情報を、介護の匠「マジ神」を教師データにしたAIによって解析しています。ホームのスタッフがこの解析データを活用し、ご入居者様と丁寧にコミュニケーションすることにより、ご入居者様のホームでの生活における「睡眠」や「日中帯の活動」など、QOL (クオリティ・オブ・ライフ)向上を目指しています。2023年度までには、既存ホームを含め56ホームをセンシングホーム化する計画です。



「グランダ四谷」



居室Aタイプ



ベネッセの介護DX



CHECK! グランダ四谷

会社概要

(2022年9月30日現在)

株式会社ベネッセホール (英文表記) Benesse	
〒700-0807 岡山県岡山市北区南方三丁目7番17号	
1955年1月28日	
13,817百万円	
代表取締役社長 CEO	小林 仁
取締役	滝山 真也
取締役	山河 健二
取締役*1	福武 英明
取締役*2 *4	岩井 睦雄
取締役*2 *4	野田 由美子
取締役*2 *4	髙島 宏平
取締役*2 *4	大西 賢
常勤監査役	松本 芳範
常勤監査役	齋藤 直人
監査役*3 *4	出雲 栄一
監査役*3	石黒 美幸
	(英文表記) Benesse 〒700-0807 岡山県岡山市北区南方 1955年1月28日 13,817百万円 代表取締役社長 CEO 取締役 取締役*1 取締役*2*4 取締役*2*4 取締役*2*4 下勤監査役 常勤監査役 常勤監査役

^{*1} 非業務執行取締役 *2 社外取締役 *3 社外監査役 *4 独立役員

株式の状況

(2022年9月30日現在)

発行》	育株式の	総数	102,604,773株		
株	主	数	77,676名		
大	株	主	(上位10名)		
株主名	<u>.</u>			持株数 (千株)	持株比率(%)
日本マ	/スタート	ラスト(言託銀行 (株)	20,382	21.13
efu I	nvestm	ent Li	mited	7,858	8.14
(公財)福武財	<u></u>		7,758	8.04
(株)	日本カス	トディ釗	·····································	5,512	5.71
(株)「	中国銀行			2,787	2.89
(公財)福武教	育文化	振興財団	1,919	1.98
(株)	南方ホー.	ルディン	ングス	1,836	1.90
	信託銀行		ĪΠ	1,600	1.65
松浦(ூ			1,396	1.44
福武 ៖	美津子			1,375	1.42

- (注1) 日本マスタートラスト信託銀行(株)の持株数には、福武英明氏が代表を務める資産管理及び 投資活動目的の法人であるefu Investment Limitedが信託財産として拠出している 当社株式6,809千株(持株比率7.06%)を含み、委託された信託財産の議決権行使に関 する指図者は、efu Investment Limitedです。
- (注2) 当社は自己株式6,163千株を保有しています。当該株式には議決権がないため上記大株主からは除外するとともに、持株比率の算出についても、当該株式数を控除しています。
- (注3) 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて記載しています。

所有者別株式分布状況



■外国法人等	26.72%
■金融機関	32.26%
■個人・その他	21.01%
■その他法人	12.66%
■自己名義株式	6.00%
■金融商品取引業者	1.31%

(注)構成比率は小数点第3位以下を切り捨てて記載しています。

株主メモ

事	業		年	度	4月1日~翌年3月31日
期ョ	卡配当金	受領	株主確定	目	3月31日
中間	引配当金	受領	株主確定	田	9月30日
定	時 杉	ŧ :	主総	会	毎年6月
株	主 名	簿	管 理	人	三菱UFJ信託銀行(株)
特员	別口座	口座	至管 理機	幾関	三菱UFJ信託銀行(株)
同	連		絡	先	三菱UFJ信託銀行(株)大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL:0120-094-777〈通話料無料〉 土日祝日を除く平日9:00~17:00
公	告	の	方	法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.benesse-hd.co.jp/ja/ 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
王	場証	券	取引	所	東京証券取引所 プライム市場

株主総会資料の電子提供制度について

会社法改正により、2022年9月1日に株主総会資料の電子提供制度が施行されました。これにより、次回の株主総会から株主総会資料は原則ウェブ化されます。

- ・印刷した全文の招集通知は原則として郵送しません。議決権行使書とともに郵送する印刷物について、当社の方針は2023年1月に当社ウェブサイトにてご案内の予定です。
- ・インターネットの利用が困難な場合等、印刷した全文の招集通知を希望される株主様は「書面 交付請求」が可能です。2023年3月31日までに、お取引の証券会社又は三菱UFJ信託銀行株式会社にてお手続きください。

将来見通しに関する注意事項

本株主通信に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関係する見通しです。これらは現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断をされることはお控えいただきますようお願いします。

本誌・株式・配当に関するお問い合わせ先/IR部(岡山本社)

〒700-0807 岡山県岡山市北区南方三丁目7番17号 TEL:086-225-1165(代表)









表紙写真:「南瓜」草間彌生 2022年 ©YAYOI KUSAMA



撮影:山本糾

ベネッセアートサイト直島のシンボルとして多くの人から愛されている「南瓜」。1994年に開催された「Out of Bounds展」で公開されました。2021年8月、台風の影響で破損しましたが、復元制作を経て、2022年10月から旧作と同じ場所で展示されています。

海に突き出た古い桟橋に設置された「南瓜」は、海の青や樹々の緑の中、一際目を引くとともに、あらためて直島にしかない風景を見せてくれています。

2022年12月2日発行

発行元:株式会社ベネッセホールディングス